

## 4. 平成23年度総会

### 総会議事録要旨

日 時：平成23年5月29日(日) 15:30~16:50  
場 所：ANAクラウンプラザホテル広島 3階 カトレア  
出席者：81名

#### 1. 総会の成立宣言

藤本校内理事より、「会員総数29,142名中、出席者81名、委任状3,629名であり、定款第22条3項に従い総会が成立した」旨の宣言がなされた。



総会の成立宣言：藤本校内理事（船50）

#### 2. 物故会員に対して黙禱

藤本校内理事より、「本日、13時30分より同室（ANAクラウンプラザホテル広島 カトレア）において慰霊式を行った」旨の報告がなされた後、平成22年度中に物故された180柱、創立以来の物故者累計5,545柱の会員と、東日本大震災の犠牲者に対して出席者全員で黙禱を捧げた。

#### 3. 表彰並びに謝辞

以下の各件につき、該当の方々が高東会長より賞状ならびに記念品が贈呈された。

- (1) 永年勤続教職員表彰（3名）  
代表者 奥山喜久夫 教授
- (2) 支部長表彰（2名）  
代表者 古荘 信次 氏（醸36）
- (3) 功績会員表彰（1名）  
牧之内繁男 氏（教22）
- (4) 代表者謝辞  
牧之内繁男 氏（教22）

（平成23年度表彰者氏名および所属）

#### (1) 永年勤続教職員表彰（3名）

教 授 奥山喜久夫 化学工学専攻  
教 授 加藤 純一 先端物質科学研究科分子生命機能科学専攻  
教 授 北村 充 輸送・環境システム専攻



永年勤続教職員表彰：奥山喜久夫教授

#### (2) 支部長表彰（2名）

古荘 信次（醸36）熊本県支部長  
衣川 眞澄（機47）愛知県支部長



支部長表彰：古荘信次氏（醸36）

#### (3) 功績会員表彰（1名）

牧之内繁男（教22）ローム・アポロ(株)



功績会員表彰：牧之内繁男氏（教22）

#### 4. 総会議長および副議長の選出

藤本校内理事より、「工業会の慣例に従い、議長には高東会長、副議長には羽山副会長にお願いしたい」との提案がなされ、全会一致で選出された。

#### 5. 議長挨拶

高東議長より、総会出席に対する感謝の言葉と議事の審議に対し協力の要請がなされた。



議長挨拶：高東会長（電38）

#### 6. 議事

##### (1) 議事録署名人選出

議長より、池条清隆（I58）・鈴木裕之（I4）の両校内理事を議事録署名人に指名したいとの動議が出され、承認された。

##### (2) 平成22年度事業報告および決算報告

井上専務理事より、別記（I）の事業報告および別記（II）の決算報告がなされ、承認された。

##### (3) 平成22年度監査報告

野間監事より、「平成23年4月21日、広島工業



平成22年度監査報告：野間監事（I59）

会西条会館において小埜・野間の各監事が、決算書、帳簿につき厳密な監査の結果、正確かつ適正に処理されていることを確認した」との報告があり、承認された。

##### (4) 法人移行について

法人移行に関して井上専務理事より別記（III）の説明の後、審議。

一般社団法人に伴う以下の事項について質疑応答があった。

支部の運営（定款、予算など）について  
正味財産の圧縮方法について

その結果

1. 平成25年4月を目途に「一般社団法人」に移行する。
2. そのための定款の改定、公益支出計画などについては来年度の総会にはかる。
3. その他の、総会で決議する事項以外については理事会に一任する。

ことが承認された。

##### (5) 平成23年度事業計画(案)並びに歳入出予算(案)審議

井上専務理事より、別記（IV）の事業計画（案）および別記（V）の予算（案）について説明があり、原案どおり承認された。また、会員増強に関連して「広島県支部」の設置の要望があった。

##### (6) 平成23年度役員選出

井上専務理事より、別記（VI）の平成23年度役員（案）が提示され、原案どおり承認された。

#### 7. 議長退任の挨拶

高東議長より、円滑な審議と議事進行と協力に対して謝意が述べられた。

#### 8. 閉会の挨拶

藤本校内理事より、閉会の辞が述べられた。

## 別記（I）

### 事業報告（平成22年度）

#### 1. 会員数（平成23年3月末日調）

名誉会員	3名	（正会員4名は除く）
正会員	28,917名	（内終身会員4,614名） （内10年会員4,381名）
賛助会員	220名	（正会員74名は除く）
特別会員	2名	
合計	29,142名	（昨年比430名増）

#### 2. 会議関係

##### (1) 平成22年度定時総会

- ・日時：平成22年6月6日(日)  
ANAクラウンプラザホテル広島
- ・議事：①平成21年度事業報告ならびに決算報告について  
②平成22年度事業計画並びに予算について  
③広島大学「フェニックス工房」建設への協力  
④平成22年度広島工業会役員について  
審議結果、原案のとおり承認可決された。

##### (2) 平成22年度第1回役員会

- ・日時：平成22年4月23日(金)  
ホテルニューヒロデン
- ・議事：①平成22年度総会等の行事日程について  
②平成22年度総会における被表彰者の選考について  
・永年勤続教職員表彰者  
・支部長表彰者  
・会員表彰者  
③公益法人制度改革への対応について  
・公益法人認定推進委員会の発足  
・社団法人広島工業会のシミュレーション  
・広島県の申請状況 ほか  
④フェニックス工房（旧ものづくりセンター）に対して  
・ものづくりセンターの設置に関わるお願い  
・看板、銘板、工程表  
審議結果、原案のとおり了承され、総会に提出することとした。

##### (3) 平成22年度第2回役員会

- ・日時：平成22年5月26日(水)  
ホテルニューヒロデン
- ・議事：①平成22年度広島工業会役員（案）について  
②平成21年度決算報告について  
③平成22年度事業計画（案）について  
④平成22年度予算（案）について  
審議結果、原案のとおり了承され、総会に提出することとした。

##### (4) 公益法人認定推進委員会

公益法人制度改革関連の3法（一般法人法、認定法、整備法）が施行され、本制度の移行に向け、該委員会を発足（メンバー5名）、移行検討推進中。

第1回 H21-7-21(火) 15:00~17:00

- ・本委員会名を「公益法人認定推進委員会」とする。

第2回 H21-11-25(水) 14:00~17:00

- ・社広島工業会 定款につき検討  
・公益事業比率アップ検討

第3回 H22-3-4(木) 13:30~

- ・社広島工業会の定款改正（案）  
・社団法人広島工業会の事業群と公益目的事業区分の対応（案）  
・新公益法人制度における申請状況

第4回 H22-12-17(金) 13:30~17:00

- ・社広島工業会 定款（案）検討

以上、4回委員会を開催して検討を進めてきたが、社団法人広島工業会は一般社団法人を指向すべきであるとの意見が強い。

##### ◎一般社団法人指向の理由

公益事業比率 $\geq 50\%$ の確立と維持は厳しい。  
他同業の社団法人は一般社団法人を指向している。  
税制面で不利益は少ない など

##### ◎一般社団法人の課題

公益目的支出計画の策定  
公益目的財産額（＝正味財産額）の圧縮  
広島工業会の定款の改定  
公益法人会計基準の導入

#### 3. 平成22年度における主な事業等

##### 〔1〕定款に定められた事業

①工業教育並びに技術に関する調査試験研究

(1) 試験研究受託事業 (敬称略)	
滝  瀧 (化学工学)	2件
吉田(英) (化学工学)	1件
西尾(特任)(分子生命機能科学)	1件
森  永 (県立広島大学)	1件
佐  藤 (社会基盤環境工学)	2件
合  計	7件
受託事業総計	10,205,800円

2月16日：96社 100ブース

4. 参加料金：2万円/ブース  
 5. 出席学生数：延べ664名(昨年552名)  
 2月15日：356名  
 2月16日：308名

両日とも開始に当って吉田総仁工学研究科長、今里智晃キャリアセンター長の挨拶をいただき非常に好評で、有効的に終了する事ができました。

②講習会、講演会の開催

(1) 記念講演会(平成22年度定時総会の一環として開催)

- ・日時：H22-6-6(日) 14:00~15:20
- ・場所：ANAクラウンプラザホテル広島 (3F オーキッド)
- ・講師：上 真一 広島大学 理事・副学長
- ・演題：クラゲと戦う -クラゲ研究の最前線-

(2) 第16回公開講演会

一般市民及び(社)広島工業会会員を対象に公開講演会を下記のとおり開催。

- ・日時：H22-10-29(金) 13:30~15:30
  - ・場所：広成ビル 6F
  - ・講師：難波平人 氏 (広島大学名誉教授)
  - ・演題：「世界の美術紀行」
- 講演の概要は(社)広島工業会 HP に掲載

③機関誌の発行

広島工業会誌第133号発行 18,400部(別冊6,470部)  
 (H22-8-10発行)

④その他目的を達成するための事業

①第13回企業説明会の開催

第13回目を迎えた本年の企業説明会は広島大学大学院工学研究科学生生活委員会と広島大学キャリアセンターの協力により2日間にわたり下記のとおり開催。

1. 日 時：H23-2-15(火) 12:30~16:00  
 H23-2-16(水) 12:30~16:00
2. 場 所：広島大学 東体育館
3. 参加企業：延べ191社 200ブース  
 (昨年164社 172ブース)  
 2月15日：95社 100ブース

②社団法人広島工業会ホームページ刷新

- ・平成22年10月1日～ リニューアルオープン (URL：<http://hiro-kogyokai.com/>)

(株)GOWEBと協力 パナー広告募集中(現在 3社)

③新会計ソフト(公益法人会計基準対応)の導入

- ・平成22年7月2日 公益法人会計ソフトを導入 (H22-7-2ソフト購入インストール済み 現在試行中)

[2] 支援事業

◎広島大学支援事業

- (1) 「フェニックス工房」の協力(10/1送金)

2250万円

「フェニックス工房」の協力に対して広島大学より感謝状(12/15)授与

「フェニックス工房の整備について」の報告(H23-4-4付け)

注：同工房の竣工式 平成22年4月15日

- (2) 教職員・学生支援

新卒業生に会長祝辞と記念品とを贈呈 387名  
 本年度卒業及び修了者数の内訳

工学部卒業	540名
大学院前期修了	270名
ク 後期修了	19名
合 計	829名

[3] 広島工業会館通常事業

- (1) 千田町会館跡地活用

『コインパーキング委託事業』開始  
 (H22-5-20～ 委託先：(株)タカ・テック)  
 H22-4-26契約

- (2) 西条会館

①西条会館用PCの更新(IBM製→サムソン製)

②広島工業会西条会館のセキュリティ関係  
 セコム(株)と新たに契約

(H23-2-1(火)~5年間 (11,000円/月)  
注：過去、(株)三井開発と契約 (30,000円/月)

④西条会館館内の水道システム

西条会館の水道システムは貯水槽方式から直配水方式へ切り替え《H22-6-17(木)~》

#### 4. 平成22年度総括

平成22年度は(社)広島工業会の事業計画に対して上記“3. 平成22年度における主な事業等”で報告の通り、一定の成果が得られた。特に、フェニックス工房への協力(2250万円)に対しては広島大学学長名で感謝状を頂き、今後も広島大学との協力関係は維持していきたい。

また広島工業会のホームページは広島大学工学部に依存していたものからの独立であり、この度のリニューアルは特記すべき事と言える。

今後の課題としては公益法人制度の移行の問題、その他広島工業会会員増強・活性化・サービスの充実などもあり平成23年度は業務の効率化を図り広島工業会を更に発展させて行きたい。

#### フェニックス工房(旧ものづくりセンター)への協力

国立大学法人広島大学に於いてフェニックス工房(旧ものづくりセンター)の建設計画が長年進められていましたが、その推進にあたり社団法人広島工業会へ協力の要請が寄せられていました。

要請を受けて、当工業会の役員会で検討を進めた結果、広島工業会の使命の一つに広島大学への協力があり、該建設計画への協力に対して合意され、H22年広島工業会の定時総会に於いて協力の承認がされました。

定時総会の承認を受けて、平成22年10月1日(金)に2,250万円を広島大学財務部に納付いたしました。

この度のフェニックス工房建設への協力に対して、広島大学から広島大学学長名で(社)広島工業会に感謝状が贈られました。

授与式は

日時：H22-12-15(水) 14:30~

場所：当工業会西条会館 3F会議室

に於いて執り行われました。

当日の出席者は

広島大学から 浅原利正学長、山根八洲男副学長、  
(6名) 吉田総仁研究院長、飛田郁也室長、  
竹内哲弘秘書室長、清野秀充氏

広島工業会から 高東進会長、井上宣邦専務理事  
(2名)

授与式で

浅原広島大学学長から

この度の協力に対して感謝する。

この工房を学生の教育に有効に活用して行く。

今後、工業会会員諸氏も本工房の活用、後輩の指導・意見などを願いたい。

と述べられ、

高東工業会会長より

今後も、広島大学と有効な関係を続けて行く。

また、建設的な意見アイデアなどを述べ広島大学の発展に協力していく。

考えであると伝えました。

注：フェニックス工房の竣工式は平成22年4月15日(木)

平成23年4月4日

#### フェニックス工房の整備について

広島大学大学院工学研究科

研究科長 吉田総仁

#### 1. はじめに

広島大学工学部・工学研究科では、学生が設計から製作までを一貫して行えるスペースとしてもものづくりセンターの設置を計画してきました。この計画については大学側の理解支援も得られ、平成22年3月に「フェニックス工房」としてオープンすることができました。フェニックス工房の整備については、工学研究科においても財源の確保に努めましたが、資金的に不足しており苦慮しておりました。しかしながら、社団法人広島工業会様からのご寄付により、満足のできる整備を行うことができました。

#### 2. 当初資金計画について

当初の資金計画としては、以下のような概要でした。

- ・建物 15億円
- ・備品等

屋内の設備整備についての当初整備計画は以下のとおりとなります。

- ① 工作機器類などの新規購入費 4,320万円



② 保有機器の移設費	60万円
③ 製図室整備（製図版購入など） のための費用	670万円
合計	5,050万円

総計としては、約2億円を計画しておりました。

につきましては、上記の全体計画の中で使用させていただきました。

その結果、建物も非常に充実したものとなり、また工作機器類等設備も汎用旋盤やワイヤカット放電加工機等の整備を行うことができました。

### 3. フェニックス工場の整備について

フェニックス工場の建物設備については、全体として約2億円（建物1.5億、設備等0.5億）をかけ整備いたしました。

今回ご寄附いただきました、寄附金（2,250万円）

### 4. おわりに

この度のご寄付により、フェニックス工場内の充実した整備ができましたことを深くお礼申し上げます。今後とも広島大学工学部・工学研究科を引き続きご支援下さいますよう、よろしくお願いいたします。

## ホームページのお知らせ

昨年10月にホームページをリニューアルしました。皆様により親しんでいただけるよう、情報交換の場を設けました。また、住所変更がホームページからも出来るようになりました。ぜひ、ご覧ください。

<http://hiro-kogyokai.com/>

なお、広島工業会会員限定コンテンツは、ユーザー名とパスワードが必要です。

- ・支部連絡先
- ・クラス会開催報告
- ・会員限定情報交換

ご覧になりたい方は別途お知らせいたしますので、工業会事務局までご連絡ください。

〒739-0047 東広島市西条下見六丁目11番38号

TEL 082-422-1661 FAX 082-422-1662

E-mail:hirology@bronze.ocn.ne.jp

別記（Ⅱ）

平成22年度決算報告

《決算について》

- ① 当年度は、新会計方式の正味財産増減計算書にした。
- ② 減価償却費の計算方法を変え、建物の耐用年数を60年から50年に変更した。
- ③ 減価償却費の見直しによる過去不足分12,191,750円は、早急に積立をする予定である。

正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

一般会計		(単位：円)			一般会計		(単位：円)		
科	目	当年度	前年度	増 減	科	目	当年度	前年度	増 減
I	一般正味財産増減の部								
1.	経常増減の部								
(1)	経常収益								
	受取入会金	1,435,100	1,272,600	162,500		管理費	14,409,578	38,518,488	△24,108,910
	受取入会金	1,403,500	1,221,500	182,000		事務所費	1,942,356	2,746,825	△804,469
	過年度受取入会金	31,600	51,100	△19,500		給料手当	2,402,151	18,876,802	△16,474,651
	受取会費	26,833,800	26,337,200	496,600		福利厚生費	492,455	3,489,628	△2,997,173
	特別会員受取会費	60,000	60,000	0		退職給付費用	119,050	912,000	△792,950
	通常会費	6,175,900	6,398,400	△222,500		通信運搬費	2,781,642	3,365,706	△584,064
	終身会費	360,000	600,000	△240,000		振替料金	304,110	306,350	△2,240
	10年会費	15,720,000	13,800,000	1,920,000		旅費交通費	318,640	157,410	161,230
	過年度会費	4,517,900	5,478,800	△960,900		消耗品費	1,452,906	1,586,043	△133,137
	事業収益	28,817,184	34,800,090	△5,982,906		会議費	2,035,965	2,307,162	△271,197
	広告収入	598,000	732,000	△134,000		役員会費	246,425	435,239	△188,814
	調査試験研究収入	10,205,800	17,305,000	△7,099,200		総会費	1,789,540	1,871,923	△82,383
	申込料収入	7,000	10,000	△3,000		租税公課	486,248	2,237,920	△1,751,672
	斡旋料収入	858,800	1,345,000	△486,200		減価償却費	1,360,602	1,807,842	△447,240
	研究委託収入	9,340,000	15,950,000	△6,610,000		雑費	713,453	724,800	△11,347
	講習会講演会収入	4,000,000	3,440,000	560,000		経常費用計	82,649,564	68,449,283	14,200,281
	講習会参加収入	4,000,000	3,440,000	560,000		評価損益等調整前当期経常増減額	△20,030,118	△3,711,670	△16,318,448
	図書販売収入	400	9,700	△9,300		評価損益等計	0	0	0
	名簿代収入	400	9,700	△9,300		当期経常増減額	△20,030,118	△3,711,670	△16,318,448
	不動産賃貸収入	12,824,984	11,873,390	951,594	2.	経常外増減の部			
	貸室料収入	10,426,800	11,873,390	△1,446,590	(1)	経常外収益			
	駐車場収入	2,398,184	0	2,398,184		経常外収益計	0	0	0
	宿泊収入	1,188,000	1,440,000	△252,000	(2)	経常外費用			
	宿泊料収入	1,188,000	1,440,000	△252,000		過年度減価償却費	12,191,750	0	12,191,750
	受取寄付金	42,000	126,000	△84,000		過年度減価償却費	12,191,750	0	12,191,750
	受取寄付金	42,000	126,000	△84,000		経常外費用計	12,191,750	0	12,191,750
	雑収益	5,491,362	2,201,723	3,289,639		当期経常外増減額	△12,191,750	0	△12,191,750
	受取利息	3,288,678	12,909	3,275,769		当期一般正味財産増減額	△32,221,868	△3,711,670	△28,510,198
	雑収益	2,202,684	2,188,814	13,870		一般正味財産期首残高	484,438,084	488,149,754	△3,711,670
	経常収益計	62,619,446	64,737,613	△2,118,167		一般正味財産期末残高	452,216,216	484,438,084	△32,221,868
(2)	経常費用				II	指定正味財産増減の部			
	事業費	68,239,986	29,930,795	38,309,191		当期指定正味財産増減額	0	0	0
	事務所費	832,437	0	832,437		指定正味財産期首残高	0	0	0
	給料手当	16,000,000	0	16,000,000		指定正味財産期末残高	0	0	0
	福利厚生費	3,280,100	0	3,280,100	III	基金増減の部			
	退職給付費用	792,950	0	792,950		当期基金増減額	0	0	0
	研究委託費	9,340,000	15,950,000	△6,610,000		基金期首残高	0	0	0
	講習会費	1,342,065	1,259,698	82,367		基金期末残高	0	0	0
	講演会費	115,934	107,851	8,083	IV	正味財産期末残高	452,216,216	484,438,084	△32,221,868
	会誌刊行費及び送料	4,236,192	4,252,623	△16,431					
	研究奨励費	0	1,300,000	△1,300,000					
	慶弔費	138,875	238,500	△99,625					
	記念品費	381,700	336,850	44,850					
	支部援助費	1,962,510	1,977,712	△15,202					
	新入会員歓迎費	971,000	971,000	0					
	工学部後援費	60,000	60,000	0					
	通信運搬費	695,410	0	695,410					
	租税公課	1,376,632	0	1,376,632					
	施設維持費	2,201,909	174,848	2,027,061					
	宿泊消耗品費	25,338	46,713	△21,375					
	消耗什器備品費	0	3,255,000	△3,255,000					
	減価償却費	1,778,542	0	1,778,542					
	支払寄付金	22,500,000	0	22,500,000					
	雑費	208,392	0	208,392					

貸借対照表

平成23年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	189,750,659	208,672,275	△18,921,616
現金	36,385	0	36,385
普通預金	2,856,753	209,270	2,647,483
普通預金(終身会費)	11,901,257	2,386,587	9,514,670
普通預金(10年会費)	11,444,782	8,295,064	3,149,718
普通預金(試験研究費)	13,845,682	13,346,589	499,093
定期預金(預り金)	3,028,800	2,902,800	126,000
定期預金(終身会費)	11,030,000	42,924,965	△31,894,965
定期預金(10年会費)	12,607,000	12,607,000	0
定期預金(試験研究費)	123,000,000	126,000,000	△3,000,000
有価証券	300,000	300,000	0
有価証券(10年会費)	215,450,000	215,450,000	0
流動資産合計	405,500,659	424,422,275	△18,921,616
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	61,126,497	61,126,497	0
建物	78,786,007	96,208,956	△17,422,949
基本財産合計	139,912,504	157,335,453	△17,422,949
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	36,899,601	38,765,746	△1,866,145
60周年事業引当資産	5,975,702	5,975,272	430
特定資産合計	42,875,303	44,741,018	△1,865,715
(3) その他固定資産			
構築物	914,857	0	914,857
什器備品	2,451,187	188,727	2,262,460
ソフトウェア	436,188	0	436,188
その他固定資産合計	3,802,232	188,727	3,613,505
固定資産合計	186,590,039	202,265,198	△15,675,159
資産合計	592,090,698	626,687,473	△34,596,775
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	136,845,682	139,346,589	△2,500,907
流動負債合計	136,845,682	139,346,589	△2,500,907
2. 固定負債			
受入敷金	3,028,800	2,902,800	126,000
固定負債合計	3,028,800	2,902,800	126,000
負債合計	139,874,482	142,249,389	△2,374,907
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	452,216,216	484,438,084	△32,221,868
一般正味財産合計	452,216,216	484,438,084	△32,221,868
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	452,216,216	484,438,084	△32,221,868
負債及び正味財産合計	592,090,698	626,687,473	△34,596,775

財産目録

平成23年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	36,385
普通預金	普通預金	〃	2,856,753
	広島銀行大手町支店	〃	1,660,000
	もみじ銀行西条南支店	〃	8,253
	ゆうちょ銀行	〃	1,000,000
	郵便振替	〃	188,500
	普通預金(終身会費)	〃	11,901,257
	広島銀行西条南支店	終身会費の積立	1,505,322
	三菱UFJ信託銀行広島支店	〃	10,253,208
	三菱UFJ信託銀行広島支店	〃	142,727
	普通預金(10年会費)	〃	11,444,782
	三菱UFJ信託銀行広島支店	10年会費の積立	7,981,031
	住友信託銀行広島支店	〃	3,463,751
	普通預金(試験研究費)	〃	13,845,682
	広島銀行西条南支店1類	試験研究費の預入れ	2,947,264
	広島銀行西条南支店2類	〃	2,238,564
	もみじ銀行西条南支店3類	〃	3,828,839
	もみじ銀行西条南支店4類	〃	3,489,272
	ゆうちょ銀行1類	〃	559,348
	ゆうちょ銀行2類	〃	208,480
	ゆうちょ銀行3類	〃	9,962
	ゆうちょ銀行4類	〃	563,953
	定期預金(預り金)	〃	3,028,800
	もみじ銀行西条南支店	預り敷金の預入れ	3,028,800
	定期預金(終身会費)	〃	11,030,000
	三菱UFJ信託銀行広島支店	終身会費の積立	11,030,000
	定期預金(10年会費)	〃	12,607,000
	住友信託銀行広島支店	10年会費の積立	12,607,000
	定期預金(試験研究費)	〃	123,000,000
	広島銀行西条南支店	試験研究費の預入れ	20,000,000
	もみじ銀行西条南支店	〃	51,000,000
	ゆうちょ銀行	〃	52,000,000
	有価証券	有価証券(10年会費)	215,450,000
	三菱UFJ信託銀行広島支店	10年会費の積立	159,000,000
	住友信託銀行広島支店	〃	36,450,000
	三菱UFJ証券	〃	20,000,000
	有価証券(公社債投資信託)	〃	300,000
流動資産合計			405,500,659
(固定資産)			
基本財産			
土地	66.08坪	事業用	139,912,504
	広島市中区千田町三丁目	〃	61,126,497
	3,079.73㎡	〃	7,000,000
	東広島市西条下見六丁目	〃	54,126,497
建物	607.74㎡	事業用	78,786,007
建物(一般)	東広島市西条下見六丁目	〃	78,786,007
特定資産			
減価償却引当資産			42,875,303
減価償却引当資産(債)	広島信用金庫	減価償却積立金	36,899,601
60周年事業引当資産	広島銀行	60周年記念事業金の積立	5,975,702
その他固定資産			
構築物	広島市中区千田町三丁目	〃	3,802,232
914,857	東広島市西条下見六丁目	〃	2,451,187
什器備品	〃	〃	436,188
ソフトウェア			
固定資産合計			186,590,039
資産合計			592,090,698
(流動負債)			
未払金	研究者に対する研究費	試験研究費の未払い分	136,845,682
流動負債合計			136,845,682
(固定負債)			
受入敷金	4社		3,028,800
固定負債合計			3,028,800
負債合計			139,874,482
正味財産			452,216,216



## 別記（Ⅲ）

### 社団法人広島工業会の法人移行について

#### ●概要

H20年12月1日からH25年11月30日の5年間、社団法人広島工業会は特例民法法人となり、この間に一般社団法人または公益社団法人のいずれかの新法人に移行する必要があります。

広島工業会は新法人への移行のため新制度のセミナーに参加するなどのほか平成21年度に公益法人認定推進委員会を発足、4回委員会を開催し検討を進めてまいりました。又他大学との情報交換、税理士と個別相談など具体的に本制度に対して動向調査および検討を進めてまいりました。

その結果、新法人への移行について下記の通り提案します。

#### ●一般社団法人を選択

##### 一般社団法人を選択する理由

- ①公益認定基準のクリアー維持が困難
  - ・公益目的事業費率 $\geq 50\%$ の達成・維持が困難
  - ・遊休財産額保有制限の遵守が困難
  - ・収支相償の問題（公益目的の収入はその実施に要する費用を償う額を超えない）
- ②公益法人のメリットの1つである税制面では広島工業会は収益事業が少なく税制上の不利益は少ない。
- ③他大学の同類の社団法人の同窓会は一般社団を指向している。
- ④公益法人認定推進委員会の意見では公益社団は厳しい。

#### ●一般社団法人へ移行するため今後検討・解決すべき課題

##### ①公益目的支出計画の策定

- ・これまで保有してきた財産は、そのまま保有し続ける事が出来るが、移行時に保有している財産は、それまで公益法人として取得し、税優遇の恩恵を受けながら蓄積してきたものである事から、法人の自由な意思決定で処分することはできない。新法人への移行に際して、現有財産を公益のための事業に消費する計画（公益目的支出計画）を策定し、その計画が終了するまで監督官庁の監督を受ける。

##### ◎公益目的支出計画の公益目的財産額

（＝今まで恩恵を得て蓄積された財産（純資産額））⇒正味財産（時価）

下記3点の公益目的事業を実施することにより公益目的財産額相当額を支出する計画を立てる必要がある。

- ①公益認定法が定める公益目的事業
- ②公益団体への特定寄付（広島大学を含む国立大学など）
- ③継続事業（不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する目的に関する事業のための支出 [イに掲げるものを除く。]）その他の内閣府令で定める支出

##### ◎公益目的財産額の圧縮案⇒不動産の購入、広島大学への寄付など

（建物の購入は3割減で評価される）

##### ◎支出計画の期間設定

##### ②定款の改定

- ・新公益法人法の施行により、新法人への移行に係る全般的な定款変更が必要である。また定款変更に係る所轄官庁との事前協議が必要である。

##### ◎一般社団法人への移行に向けた定款作成

（⇒案として定款変更ガイドラインに沿って現定款と新定款（案）比較表を作成）

- ・法律上の構成員（＝社員）  
全工業会会員を社員 or 代議員制度  
⇒代議員制が現実的
- ・会員の定義：  
正会員＝会員資格のうち、会費納入者を正会員とする。  
登録会員＝会員有資格者で会費未納入者を登録会員とする。  
（正会員であっても連続2ヶ年年度会費未納入者は登録会員とする。）  
学生会員＝学生会費納入者  
名誉会員＝科学技術および工業等の分野で顕著な功績のあったもので理事会推薦者。
- ・代議員制度：地域別「正会員」数を基準に各支部・ブロックから選出  
大規模支部：広島、広島大学、関東、関西、愛知  
中規模支部：山口、四国、九州、北海道、東北・北陸  
⇒関係省庁と相談と工業会会員の了承方法の検討

##### ③公益法人会計基準の導入

- ・公益法人会計ソフトを導入（H22-7-2ソフト購入インストール済み）⇒試行中
- ・H23年度決算を基に移行申請書作成

●移行推進に当たって

- ①今後、移行推進にあたり関係行政部署との頻繁なる折衝業務が必要となります。  
総会で決議する事項（定款変更、公益目的支出計画等の認可申請書類）以外については理事会へ一任を頂き、移行遂行に当たり効率化を図りたい。

●認可申請のスケジュール（案）

スケジュール概略

- ・平成20年(2008年)
    - ①現行の社団法人はすべて特例民法法人（H20-12-1～H25-11-30）となる  
（名称は従来通り社団法人を称して可）
  - ・平成21年(2009年)
    - ①H21年6月 公益法人認定推進委員会の発足
      - ・委員会のメンバー：
        - 佐藤良一教授（広大工学研究科）
        - 三枝省三教授（広大産学連携センター部門長）
        - 井上友一税理士
        - 高東進広島工業会会長、井上宣邦専務理事  
以上5名
- 【過去、4回開催：H21-7-28(火)、H21-11-25(水)、H22-3-4(木)、H22-12-17(金)】

- ・公益法人認定推進委員会：
  - 制度改革対応案の検討・実施具体化
  - 定款、関係規則の検討
  - 経理規則改定の検討 他

- ・平成22年(2010年)
  - ①H22年7月 新経理規則に則った会計処理試行開始
- ・平成23年6月(2011年)～平成24年5月(2012年)
  - ・課題の抽出と対応
    - 定款変更案作成（法律上の構成員（=社員）の定義、あるいは「代議員制度」の選択）
    - 公益目的支出計画の作成
    - 規程・規則の作成、整備
    - 移行認可申請書類の作成
- ・平成24年5月(2012年)
  - 役員会 最終方針決定
  - 定時総会 「定款の変更案」「公益目的支出計画」「規程・規則」の決議
- ・平成24年7月(2012年)以降
  - ・移行申請書類提出
- ・平成25年(2013年) 【H25-11-30 移行期間満了】  
認可 取得（H25-4-1目標）

年	2007	2008年(平成20年)				2009年(平成21年)				2010年(平成22年)				2011年(平成23年)				2012年(平成24年)				2013年(平成25年)			
月		3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12
政府スケジュール		社団法人 広島工業会⇒特例民法法人 (H20-12-1～H25-11-30)																							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益法人3法施行(H20-12-1) 現行社団法人は特例民法法人へ</li> </ul>																							
（社）広島工業会スケジュール	理事会 定時総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益法人認定推進委員会発足</li> </ul>																							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○対応方針中間報告(5月通常総会)</li> <li>○新経理規則に則った会計処理開始(12月～試行)</li> <li>○最終方針決定(4月理事会)</li> <li>○認定申請、定款改定の決定(5月通常総会)</li> <li>○一般社団法人認可申請</li> </ul>																							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の抽出と対応</li> <li>定款変更案作成(法律上の構成員(=社員)の定義、あるいは「代議員制度」の選択)</li> <li>公益目的支出計画の作成</li> <li>規程・規則の作成、整備</li> <li>移行申請書類の作成</li> </ul>																							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>申請受理 → 審査 → 認可</li> </ul>																							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人へ</li> </ul>																							

## 別記（Ⅳ）

### 平成23年度事業計画

新公益法人の施行により、本制度の移行に向け公益法人認定推進委員会、理事会、評議員会など開催して検討を進め一般社団法人の選択がベストであるとの方向から一般社団法人の申請に向け具体的に作業を推進する。

また、社団法人広島工業会の事業目的を再確認し、組織運営のあり方などを抜本的に見直し、事業および財政基盤の充実に向けて平成23年度の事業を下記の通り提案する。

#### 【Ⅰ】公益法人制度の移行活動

平成24年度定時総会において一般社団法人移行に必要な事項を審議・決定頂けるよう精力的に検討を進める。

##### ●一般社団法人移行に向けての推進

- ①公益法人認定推進委員会の推進
  - ・社団法人広島工業会の一般社団法人に向けての対応検討。
- ②公益目的支出計画（案）の策定
  - ①公益目的事業
  - ②継続事業
  - ③特定寄付
- ③広島工業会定款の改定  
定款変更ガイドラインに沿って新定款（案）の策定
- ④公益法人会計基準（新会計システム）で運営推進
- ⑤その他  
電子申請用IDの取得、他同業法人の動向調査と連携及び広島県の関係機関との連携

#### 【Ⅱ】定款に定められた目的を達成するための事業の推進

- ①工業教育並びに技術に関する調査試験研究
  - ・受託試験研究の拡大（広島大学－広島工業会交流会の推進ほか）
- ②講習会、講演会の開催
  - ・記念講演会（定時総会時に開催 会員及び一般を対象）
  - ・公開講演会（秋季に開催 会員及び一般を対象）
  - ・企業説明会（2月に翌春卒業・修了予定学生を対象に2日間開催）
- ③機関誌の発行及び資料の刊行

- ・広島工業会誌発行（8月刊行）
- ・広島工業会会員名簿は個人情報の秘密保持の関係上発行を当面中断する。

（最新 平成18年版）

- ④その他目的を達成するために必要な事業
  - ・社団法人広島工業会規程関係の整備
  - ・テナント、駐車場、研究宿泊などの推進
  - ・その他新事業の開拓

#### 【Ⅲ】広島大学支援事業

- ①連携事業の強化
  - ・広島大学工学部後援会活動
  - ・広島大学校友会・同窓会活動
  - ・広島大学産学連携センターとの連携 など
- ②資金援助事業
  - ・博士課程への研究奨励
  - ・第5回広島大学ホームカミングデーの支援（H23-11-5(土)）
- ③教職員支援事業
  - ・5年以上勤務の定年退職・異動教職員への感謝状と記念品料贈呈
- ④学生支援
  - ・新入会学生への記念品（名刺入れ）

#### 【Ⅳ】広島工業会会館（西条会館・千田町会館跡地）の活用

- ①西条会館関係
  - ・西条会館の会議室（3階を含む）／研究宿泊／テナント／駐車場の提供
  - ・デジタル化テレビジョン放送の対応  
受像機のアナログからデジタル対応（H23-7-24以降はデジタル放送に切り替え）（3F 宿泊室用4台、2F 西条会館用1台、アンテナ系の整備）
  - ・複写機の更新
- ②千田町会館跡地
  - ・千田町会館更地後のコインパーキング委託事業の継続。  
なお、公益法人制度などの対応に対し有効的な活用については継続して検討する。

#### 【Ⅴ】社団法人広島工業会の活性化

- ①会員増強活動
  - ・会員増強活動：新入生に対する入会勧誘。卒業生の未入会者への定期的勧誘
- ②活性化活動
  - ・支部総会などへの積極的参加

- ・会員の人的ネットワークの充実・会員のコミュニケーションの活性化
  - ・会員のデータベース管理（会員名簿、メールアドレスなどの充実）
  - ・広島工業会HPの充実と有効的活用
  - ・各支部活動への支援、フォロー
- ③会員の祝・表彰
- ・特別な功績：表彰状と記念品

## 【VI】 その他

- ①広島大学との連携強化  
広島大学工学部、産学連携センター 他
- ②広島大学マスターズとの連携  
注：広島大学マスターズとは広島大学元教職員からなる「市民へ知の還元」を目的とした団体。
- ③広島工業会職員の教育・活性化

## 西条会館からのお知らせ

### ◎工業会西条会館 宿泊室・会議室のご利用を!!

- **宿 泊 室**      洋室 4（個室）  
冷暖房、各部屋バストイレ付、食事なし
- **宿 泊 料**      4,000円  
（1泊につき）
- **会 議 室**      大会議室 約30名収容  
冷暖房付  
（料金等詳細は事務局迄）
- **申 込 方 法**      当事務局へ電話にてお申込み下さい。  
〒739-0047 東広島市西条下見六丁目11番38号  
社団法人 広島工業会西条会館  
T E L    082-422-1661  
F A X    082-422-1662

別記 (V)

収 支 予 算 書

《予算について》

平成23年度は、新会計方式に基づき予算を編成した。

ベースは、当年度の事業計画を踏まえ、前年度の決算結果に因るものである。

特に、10年会費納入の促進・調査試験研究収入の増加を図るとともに、より一層の業務運営の効率化に努めることとする。

これにより、収支均衡を図る。

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	前年度決算額	予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	1,435,100	1,450,000	14,900
受取入会金	1,403,500	1,400,000	△3,500
過年度受取入会金	31,600	50,000	18,400
受取会費	26,833,800	27,590,000	756,200
特別会員受取会費	60,000	0	△60,000
通常会費	6,175,900	6,400,000	224,100
終身会費	360,000	400,000	40,000
10年会費	15,720,000	16,000,000	280,000
過年度会費	4,517,900	4,790,000	272,100
事業収益	28,817,184	29,790,000	972,816
広告収入	598,000	700,000	102,000
調査試験研究収入	10,205,800	11,010,000	804,200
申込料収入	7,000	10,000	3,000
斡旋料収入	858,800	1,000,000	141,200
研究委託収入	9,340,000	10,000,000	660,000
講習会参加収入	4,000,000	4,100,000	100,000
図書販売収入	400	10,000	9,600
名簿代収入	400	10,000	9,600
不動産賃貸収入	12,824,984	12,770,000	△54,984
貸室料収入	10,426,800	10,300,000	△126,800
駐車場収入	2,398,184	2,470,000	71,816
宿泊収入	1,188,000	1,200,000	12,000
宿泊料収入	1,188,000	1,200,000	12,000
受取寄付金	42,000	50,000	8,000
受取寄付金	42,000	50,000	8,000
雑収益	5,491,362	5,530,000	38,638
受取利息	3,288,678	3,300,000	11,322
雑収益	2,202,684	2,230,000	27,316
経常収益計	62,619,446	64,410,000	1,790,554
(2) 経常費用			
事業費	68,239,986	49,360,000	△18,879,986
事務所費	832,437	780,000	△52,437
給料手当	16,000,000	16,000,000	0
福利厚生費	3,280,100	3,380,000	99,900
退職給付費用	792,950	790,000	△2,950
研究委託費	9,340,000	10,000,000	660,000
講習会費	1,342,065	1,420,000	77,935
講演会費	115,934	200,000	84,066
会誌刊行費及び送料	4,236,192	4,330,000	93,808
研究奨励費	0	1,300,000	1,300,000
慶弔費	138,875	200,000	61,125
記念品費	381,700	420,000	38,300
支部援助費	1,962,510	2,000,000	37,490
新入会員歓迎費	971,000	971,000	0
工学部後援費	60,000	60,000	0
通信運搬費	695,410	710,000	14,590
租税公課	1,376,632	1,379,000	2,368
施設維持費	2,201,909	200,000	△2,001,909

一般会計

(単位:円)

科 目	前年度決算額	予算額	増 減
宿泊消耗品費	25,338	30,000	4,662
消耗什器備品費	0	1,000,000	1,000,000
減価償却費	1,778,542	1,890,000	111,458
支払寄付金	22,500,000	0	△22,500,000
新法人制度対応費	0	2,200,000	2,200,000
法人申請委託費	0	1,000,000	1,000,000
会計コンサルタント費	0	1,000,000	1,000,000
職員教育費	0	200,000	200,000
雑費	208,392	100,000	△108,392
管理費	14,409,578	15,050,000	640,422
事務所費	1,942,356	1,820,000	△122,356
給料手当	2,402,151	2,470,000	67,849
福利厚生費	492,455	520,000	27,545
退職給付費用	119,050	122,000	2,950
通信運搬費	2,781,642	2,860,000	78,358
振替料金	304,110	310,000	5,890
旅費交通費	318,640	450,000	131,360
消耗品費	1,452,906	1,500,000	47,094
会議費	2,035,965	2,360,000	324,035
役員会費	246,425	420,000	173,575
総会費	1,789,540	1,940,000	150,460
租税公課	486,248	488,000	1,752
減価償却費	1,360,602	1,450,000	89,398
雑費	713,453	700,000	△13,453
経常費用計	82,649,564	64,410,000	△18,239,564
評価損益等調整前当期経常増減額	△20,030,118	0	20,030,118
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△20,030,118	0	20,030,118
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度減価償却費	12,191,750	0	△12,191,750
過年度減価償却費	12,191,750	0	△12,191,750
経常外費用計	12,191,750	0	△12,191,750
当期経常外増減額	△12,191,750	0	12,191,750
当期一般正味財産増減額	△32,221,868	0	32,221,868
一般正味財産期首残高	484,438,084	452,216,216	△32,221,868
一般正味財産期末残高	452,216,216	452,216,216	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	452,216,216	452,216,216	0



別記 (VI)

平成23年度広島工業会役員

	在任	新任または再任
会 長		高東 進 (電38)
副 会 長	中田 雅資 (建41院修)	羽山 信宏 (精46院修)
専務理事		井上 宣邦 (電38)
理 事	(校外) 今川 光洋 (機40) 鶴川 稔 (土50院修) 土屋 義信 (農51院後) 武居 則行 (子51) 隅田 誠 (Ⅲ55) 金本 浩明 (工50院前) 三島万治郎 (Ⅰ60) 森 大一郎 (Ⅱ2院前) (校内) 近藤 一夫 (建48院修) 藤田 聡 (Ⅱ60院後) 鈴木 裕之 (Ⅰ4) 塚井 誠人 (Ⅳ8) 金指 正言 (Ⅲ13院後)	井本 祐司 (化39) 山根 宏明 (機42) 中村 正樹 (経49院修) *河野 安隆 (精51) 白石 俊昭 (電52) 米山 昌一 (経52) 高廣 義明 (経53) 烏田 修之 (子54院前) 原田 耕一 (電48) 江口 透 (Ⅰ3院前) 山本 元道 (Ⅳ5院前) *駒口 健治 (院後6) *川崎 健 (Ⅲ11院後)
監 事	*野間 幸治 (工50院前)	*渡邊 敏正 (子47院修)
評 議 員	筒井 敷三 (機16) 片島 三朗 (機23)	武田 正弘 (教19) 鶴野 俊雄 (機33)

(注) ※印は新任を示す

平成23年度総会・懇親会出席者

(敬称略・順不同)

招 待 者	旧 生	現 職 員	
		浅原 利正 (学長)	山根八洲男 (副学長)
		石井 抱 (二類)	都留 稔了 (三類)
		藤井 堅 (四類)	和根山幹生 (支援室長)
		香川 和信 (校友担当)	
表 彰 者	講 演 者	高橋 智隆 (講演者)	奥山喜久夫 (化学工学)
		加藤 純一 (分子生命機能科学)	古荘 信次 (醸36)
		衣川 真澄 (機47)	牧之内繁男 (教22)
会 員	第 一 類	機 械・教 養・精 密	天野 孝三 (機22) 増田 忠之 (機30) 正木 則彦 (機31) 鶴野 俊雄 (機33) 平野 勝彦 (機37) 桂 彬真 (機40) 廣實 崇司 (機40) 都 英次 (機42) 大谷 隆典 (機47) 山本 正広 (機47) 中村 隆廣 (Ⅰ56) 野間 幸治 (Ⅰ59) 重村 泰広 (Ⅰ60) 三島万治郎 (Ⅰ60) 江口 透 (Ⅰ3) 日野隆太郎 (Ⅰ3) 六浦 洋之 (Ⅰ5) 畑本 郁彦 (Ⅰ12) 山広 牧子 (Ⅰ13) 武田 正弘 (教19) 永岡 建城 (精41) 河野 安隆 (精51)
		第 二 類	電 気・電 子・経 営
	第 三 類	応 化 醸 酵 化 工	平岡 鉄幹 (応32) 里田 秀敏 (応52) 木下 茂 (醸32) 善光 則之 (醸33) 斎藤 尚武 (醸43) 小埜 和久 (醸46) 堀之内 功 (化38) 正木 治郎 (化47)
	第 四 類	船 舶 未 建 築	新田 茂樹 (船51) 多賀谷宏三 (土40) 大田 幸雄 (Ⅳ17) 恵本 繁 (建33) 中田 雅資 (建41)
	本 部	[会 長] 高東 進 (電38) [副会長] 羽山 信宏 (精46) [専務理事] 井上 宣邦 (電38) [校内理事] 藤本由紀夫 (船50) 池条 清隆 (Ⅰ58) 藤田 聡 (Ⅱ60) 秋 庸裕 (Ⅲ1) 鈴木 裕之 (Ⅰ4)	

計 97名